

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エストアー

コード番号 4304 URL <http://Estore.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 CC担当 (氏名) 柳田 要一

TEL 03-3595-1106

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,973	25.2	353	41.1	350	39.1	207	36.8
24年3月期第2四半期	2,375	—	250	—	251	—	152	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 214百万円 (48.7%) 24年3月期第2四半期 144百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4,890.72	4,890.60
24年3月期第2四半期	3,574.47	3,573.29

(注) 1. 売上高の実質的な増減率は 16.1%増と試算されます(連結基準日を前第1四半期の末日としたことから、子会社の連結期間が前第2四半期と当第2四半期では異なりますが、仮に同期間とした場合)。  
2. 当社は、平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,102	1,925	46.4
24年3月期	4,012	1,809	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,903百万円 24年3月期 1,793百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,300.00	2,300.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めていますが、現時点では期末日における配当予想額は未定です。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

当社グループの属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、8ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	51,636 株	24年3月期	51,636 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	9,111 株	24年3月期	9,111 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	42,525 株	24年3月期2Q	42,524 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	7
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	7
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	8
3. 四半期連結財務諸表 .....	9
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	11
四半期連結損益計算書 .....	11
第2四半期連結累計期間 .....	11
四半期連結包括利益計算書 .....	12
第2四半期連結累計期間 .....	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	15
(5) セグメント情報等 .....	15
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

Eコマース市場は、引き続き拡大しながらも、質が大きく変化し、いわば「ECの第二楽章」が展開しております。このようななか、当社は当期までの3年間を近未来への積極投資期間と定め、『『開店屋10年』から『売上屋10年』へ』というスローガンのもと、ネットショップの普及、顧客数の拡大から、お客様の売上・利益創出の支援へと、大きく事業モデルの転換を図るための積極的な投資を継続しております。同時に、期初の計画どおり、予測しているトラフィック爆発（スマホトラフィックによる）に備え、サービス運転の「高速安定を最優先事項とする」考えのもと、抜本対策を実施しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,973百万円（対前年同四半期比25.2%増）、営業利益は353百万円（対前年同四半期比41.1%増）、経常利益は350百万円（対前年同四半期比39.1%増）となり、四半期純利益は207百万円（対前年同四半期比36.8%増）となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間の財務諸表においては、連結子会社である株式会社プレジジョンマーケティングの連結基準日を前第1四半期連結累計期間の末日としているため、連結損益計算書上では、同社の前第2四半期会計期間の数値のみを連結しております。

報告セグメントの業績は、次のとおりです。

#### （EC事業）

Eコマース市場が引き続き拡大するなか、顧客店舗業績は、受注数393万回、流通額442億円となり、対前年同四半期比では受注数の増加に対し、流通額は微減となりましたが、これは当社収益に影響の少ない一部の大型店舗様の解約や非注力領域である依存販路店舗の減少によるものです。一方、店舗業績の8割を占め当社業績に直接影響の強い自社販路店舗様においては、受注数311万回、流通額347億円と対前年同四半期比でそれぞれ約15%ずつ伸びしており、当社のフロウ（店舗の業績に連動）売上は887百万円（対前年同四半期比12.8%増）と順調に拡大しております。また、売上構成では、フロウ売上が全体の40.6%（対前年同四半期比2.8ポイント増）となり、店舗獲得のみでなく、店舗業績拡大の施策に注力してきたことが寄与しております。

サービス全体での累計契約件数は30,484件（前期末比2,289契約減）となっており、主な減少要因は依存販路店舗数の減少（前期末比1,928契約減）であります。また、短期的に自社販路経由の店舗数自体も減少しておりますが、現在当社では、システム提供モデルからマーケティング支援モデル（お客様の売上・利益創出の支援）へと事業モデルの転換を図るなか、従来のように全ての見込顧客に対応するのではなく、成長が期待できフロウ売上への貢献が見込まれる店舗様を中心に獲得を進めるよう営業方針を改めた結果であります。なお、依存販路店舗の減少によるストック（契約店舗数に連動）売上、流通総額への影響は軽微であり、成長が期待でき、フロウ売上への貢献が見込まれる店舗様の増加が流通総額の増大に大きく寄与するものと考えております。

また、7月に事業拠点として札幌市内にコールセンター「札幌マーケティングファクトリー」を開設し、業務の集

中と効率化を図るとともに、ECに関わるプロフェッショナル業務をメインとした就業環境づくりを進めており、お客様の売上・利益創出の支援への体制が整いつつあります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,185百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益は334百万円(前年同四半期比32.0%増)となりました。

#### (集客事業)

連結子会社である株式会社プレジジョンマーケティングにおいて、WEBマーケティングサービスを提供しております。

当該市場の成長率は著しく、今までは事業規模拡大のため、利益率よりも広告取扱総量の増大を重視してきましたが、安定的な案件獲得や資金繰りの改善を受け、利益率の低い大手依存度を下げております。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は同社前年同四半期比で1.5倍の874百万円、営業利益は20百万円となり、利益を生む構造になりつつあります。

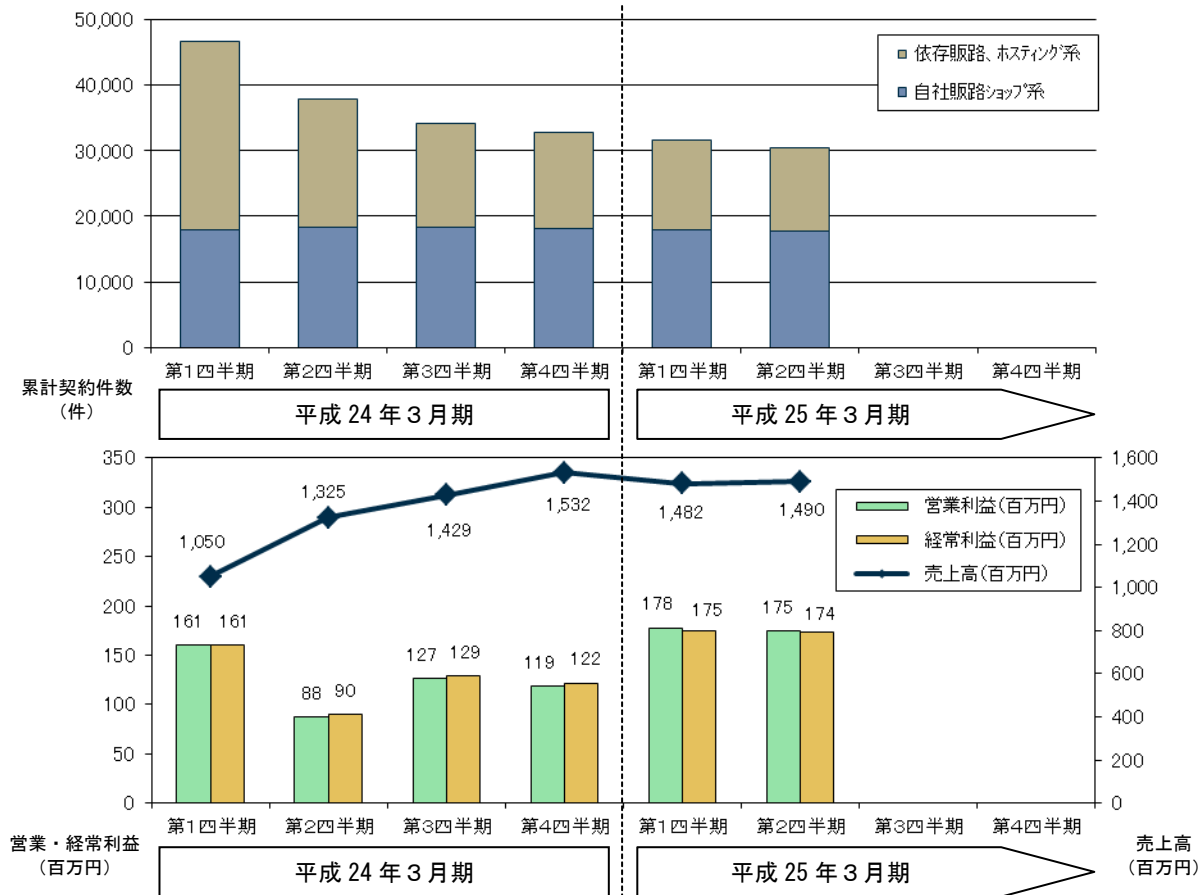
なお、前期まで「広告事業」というセグメント名称で表記しておりました同事業について、当期より、より事業内容に則した「集客事業」という名称に変更しております。

#### (第3四半期以降の取り組み)

第3四半期以降につきましても、当期におきましては期初の計画どおり、中長期な戦略として、マーケティング支援モデルの完成のためにより一層の積極的事業投資策を行うとともに、予測しているトラフィック爆発(スマホトラフィックによる)に備え、安定化と高速化を基軸とした施策を実施し、障害なしに受注増に対応できるよう努めてまいります。また、短期的には、顧客である店舗様の施策展開に則して、的確な対応がとれる体制作りや意識改革を進めております。

(契約件数)

① 販路別四半期推移



自社販路件数推移

	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第4四半期	平成25年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第2四半期
新規契約件数 (内 ショップ系) (内 ホスティング系)	1,535 (1,502) (33)	1,134 (1,109) (25)	825 (795) (30)	929 (903) (26)	940 (909) (31)
解約件数 (内 ショップ系) (内 ホスティング系)	1,068 (1,026) (42)	1,154 (1,108) (46)	1,104 (1,069) (35)	1,185 (1,146) (39)	1,045 (1,005) (40)
累計件数 (内 ショップ系) (内 ホスティング系)	19,766 (18,377) (1,389)	19,746 (18,378) (1,368)	19,467 (18,104) (1,363)	19,211 (17,861) (1,350)	19,106 (17,765) (1,341)

依存販路件数推移

	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第4四半期	平成25年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第2四半期
新規契約件数 (内 ショップ系) (内 ホスティング系)	118 (110) (8)	5 (1) (4)	10 (2) (8)	3 (0) (3)	3 (0) (3)
解約件数 (内 ショップ系) (内 ホスティング系)	9,474 (629) (8,845)	3,683 (661) (3,022)	1,085 (559) (526)	969 (641) (328)	965 (845) (120)
累計件数 (内 ショップ系) (内 ホスティング系)	18,059 (12,223) (5,836)	14,381 (11,563) (2,818)	13,306 (11,006) (2,300)	12,340 (10,365) (1,975)	11,378 (9,520) (1,858)

(契約件数)

② 主要サービス別四半期推移

Eコマース用レンタルサーバー件数推移

	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第4四半期	平成25年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第2四半期
新規契約件数	53	41	52	41	41
(内 直販件数)	(24)	(22)	(29)	(20)	(17)
(内 代理店販売件数)	(29)	(18)	(23)	(21)	(24)
(内 OEM販売件数)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)
解約件数	9,552	3,801	1,016	895	825
(内 直販件数)	(136)	(167)	(122)	(136)	(91)
(内 代理店販売件数)	(292)	(262)	(198)	(283)	(231)
(内 OEM販売件数)	(9,124)	(3,372)	(696)	(476)	(503)
累計件数	15,598	11,838	10,874	10,020	9,236
(内 直販件数)	(3,163)	(3,018)	(2,925)	(2,809)	(2,735)
(内 代理店販売件数)	(7,019)	(6,775)	(6,600)	(6,338)	(6,131)
(内 OEM販売件数)	(5,416)	(2,045)	(1,349)	(873)	(370)

ショッピングカートASP件数推移

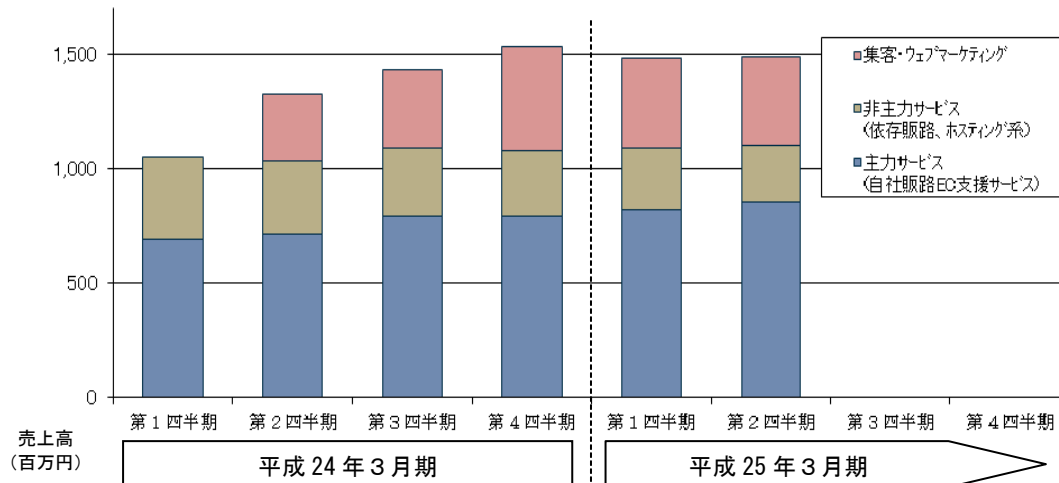
	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第4四半期	平成25年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第2四半期
新規契約件数	0	3	6	3	1
(内 直販件数)	(0)	(3)	(6)	(3)	(1)
(内 代理店販売件数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
解約件数	41	30	28	39	25
(内 直販件数)	(24)	(16)	(22)	(22)	(12)
(内 代理店販売件数)	(17)	(14)	(6)	(17)	(13)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
累計件数	608	581	559	523	499
(内 直販件数)	(388)	(375)	(359)	(340)	(329)
(内 代理店販売件数)	(220)	(206)	(200)	(183)	(170)
(内 OEM販売件数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

ウェブショップ総合パッケージ件数推移

	平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第4四半期	平成25年3月期 第1四半期	平成25年3月期 第2四半期
新規契約件数	1,600	1,095	777	888	901
(内 直販件数)	(1,237)	(910)	(614)	(712)	(700)
(内 代理店販売件数)	(253)	(185)	(163)	(176)	(201)
(内 OEM販売件数)	(110)	(0)	(0)	(0)	(0)
解約件数	949	1,006	1,145	1,220	1,160
(内 直販件数)	(682)	(720)	(755)	(781)	(711)
(内 代理店販売件数)	(155)	(174)	(147)	(167)	(168)
(内 OEM販売件数)	(112)	(112)	(243)	(272)	(281)
累計件数	21,619	21,708	21,340	21,008	20,749
(内 直販件数)	(11,467)	(11,657)	(11,516)	(11,447)	(11,436)
(内 代理店販売件数)	(3,053)	(3,064)	(3,080)	(3,089)	(3,122)
(内 OEM販売件数)	(7,099)	(6,987)	(6,744)	(6,472)	(6,191)

(売上高)

① 構成別四半期推移



② 構成別内訳

平成25年3月期第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

セグメントの名称	構成別	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
EC事業	ストック (契約店舗数に連動)	1,179,418	96.8
	フロウ (店舗業績に連動)	887,502	112.8
	その他 (クロスセル・セミナー等)	118,757	159.2
	小計	2,185,678	105.0
集客事業	集客	787,410	269.0
	小計	787,410	269.0
合計		2,973,089	125.2

③ 商品別内訳

平成25年3月期第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

セグメントの名称	商品別	売上高(千円)	前年同四半期比(%)
EC事業	ネットショップ総合パッケージ	1,742,388	112.7
	レンタルサーバー	332,129	70.8
	ショッピングカート機能	37,946	79.2
	その他インターネット関連サービス	73,213	380.1
	小計	2,185,678	105.0
集客事業	WEBマーケティング	787,410	269.0
	小計	787,410	269.0
合計		2,973,089	125.2

(注) 1 連結子会社による売上高を「集客事業」とし、内部売上高を含めていません。

2 当社は、平成24年3月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成していますが、連結子会社の連結基準日を前第1四半期連結累計期間の末日としたため、平成24年3月期第2四半期の連結子会社の売上高は、実質3ヵ月間となります。



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,102百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で90百万円増加し、4,102百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加187百万円、売掛金の減少133百万円、投資有価証券の増加23百万円、工具、器具及び備品の増加19百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で26百万円減少し、2,177百万円となりました。これは主に、預り金の減少144百万円、未払法人税等の増加79百万円、買掛金の減少54百万円、未払金の増加44百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で116百万円増加し、1,925百万円となりました。これは、平成24年3月期の配当金支払97百万円があったものの、当第2四半期純利益として207百万円計上したことによります。これにより自己資本比率は46.4%（前連結会計年度末比1.7ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末比で112百万円減少し、2,214百万円（前連結会計年度末比4.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、442百万円（前年同四半期は184百万円の増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益350百万円、売上債権の減少196百万円、減価償却費99百万円であり、減少要因は、預り金の減少144百万円、法人税等の支払額69百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、450百万円（前年同四半期は17百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出300百万円、サーバー等の購入に伴う有形固定資産の取得による支出76百万円、ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の取得による支出48百万円、投資有価証券の取得による支出23百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、100百万円（前年同四半期は156百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払額97百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの属するインターネット業界は環境の変化が激しく、業績の見通しにつきましては数値の精度に対する確証が得られないため、合理的な予測が困難であることから、業績予想について記載していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,548千円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,327,166	2,514,530
売掛金	749,471	615,491
原材料及び貯蔵品	4,687	3,544
仕掛品	400	400
その他	252,790	250,210
貸倒引当金	△8,557	△9,644
流動資産合計	3,325,958	3,374,533
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	171,566	191,442
その他(純額)	15,408	15,173
有形固定資産合計	186,974	206,615
無形固定資産		
	310,325	305,167
投資その他の資産		
投資有価証券	41,890	64,977
敷金	116,439	120,742
その他	48,284	47,617
貸倒引当金	△17,127	△16,698
投資その他の資産合計	189,487	216,639
固定資産合計	686,787	728,422
資産合計	4,012,746	4,102,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	276,188	221,828
未払金	144,639	189,406
未払法人税等	71,901	151,309
預り金	1,465,405	1,320,600
賞与引当金	61,253	60,442
1年内返済予定の長期借入金	6,000	6,000
資産除去債務	—	498
その他	152,570	203,405
流動負債合計	2,177,960	2,153,490
固定負債		
資産除去債務	10,502	11,540
長期借入金	15,000	12,000
固定負債合計	25,502	23,540
負債合計	2,203,463	2,177,031

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
資本剰余金	539,416	539,416
利益剰余金	1,724,373	1,834,541
自己株式	△991,853	△991,853
株主資本合計	1,795,265	1,905,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,051	△2,420
その他の包括利益累計額合計	△2,051	△2,420
新株予約権	2,239	2,239
少数株主持分	13,829	20,672
純資産合計	1,809,283	1,925,925
負債純資産合計	4,012,746	4,102,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,375,083	2,973,089
売上原価	1,500,228	2,047,325
売上総利益	874,855	925,763
販売費及び一般管理費	624,680	572,690
営業利益	250,175	353,073
営業外収益		
投資有価証券売却益	4,690	—
受取利息	255	609
受取配当金	945	4
雑収入	924	1,128
営業外収益合計	6,814	1,741
営業外費用		
投資有価証券売却損	1,846	—
支払利息	458	176
為替差損	2,699	4,022
雑損失	20	21
営業外費用合計	5,025	4,220
経常利益	251,964	350,594
特別利益		
投資有価証券売却益	2,249	—
段階取得に係る差益	12,320	—
特別利益合計	14,569	—
特別損失		
関係会社株式評価損	6,389	—
債権放棄損	3,021	—
特別損失合計	9,411	—
税金等調整前四半期純利益	257,123	350,594
法人税、住民税及び事業税	89,290	147,717
法人税等調整額	17,107	△12,252
法人税等合計	106,398	135,465
少数株主損益調整前四半期純利益	150,724	215,129
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,275	7,151
四半期純利益	152,000	207,977

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	150,724	215,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,518	△680
その他の包括利益合計	△6,518	△680
四半期包括利益	144,206	214,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,925	207,608
少数株主に係る四半期包括利益	△1,719	6,840

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	257,123	350,594
のれん償却額	1,018	2,037
減価償却費	98,873	99,109
貸倒引当金の増減額(△は減少)	370	657
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,671	△811
受取利息及び受取配当金	△1,200	△613
支払利息	458	176
為替差損益(△は益)	2,699	4,022
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,093	—
関係会社株式評価損	6,389	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△12,320	—
売上債権の増減額(△は増加)	△18,290	196,118
仕入債務の増減額(△は減少)	8,918	20,291
未払金の増減額(△は減少)	△10,945	55,788
預り金の増減額(△は減少)	△27,214	△144,805
その他の資産の増減額(△は増加)	22,696	△60,604
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,765	△10,911
小計	320,391	511,049
利息及び配当金の受取額	698	613
利息の支払額	△458	△153
法人税等の支払額	△136,139	△69,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,491	442,442
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
保険積立金の積立による支出	△158	△475
貸付けによる支出	△33,400	—
貸付金の回収による収入	20,000	2,823
有形固定資産の取得による支出	△37,965	△76,807
無形固定資産の取得による支出	△59,392	△48,399
投資有価証券の取得による支出	△5,157	△23,946
投資有価証券の売却による収入	78,113	—
関係会社株式の取得による支出	△3,350	—
新規連結子会社の取得による収入	23,803	—
子会社株式の取得による支出	—	△204
定期預金の預入による支出	—	△300,000
敷金の差入による支出	—	△4,513
敷金の回収による収入	891	—
その他	△630	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,247	△450,681

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△11,700	—
長期借入金の返済による支出	△47,040	△3,000
配当金の支払額	△97,786	△97,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,526	△100,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,699	△4,022
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,018	△112,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,973,289	2,327,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,981,307	2,214,530



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。